# 予　算　要　求　資　料

令和３年度当初予算　　支出科目　款：警察費　項：警察管理費　目：装備費

## 事業名　警察装備費

（この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください）

警察本部　総務室　装備施設課　電話番号：058-271-2424（内 2262）

E-mail：c18873@pref.gifu.lg.jp

### １　事業費　　583,469 千円（前年度予算額：598,730 千円）

＜財源内訳＞

| 区　分 | 事業費 | 財源内訳 | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 国　庫<br>支出金 | 分担金<br>負担金 | 使用料<br>手数料 | 財産<br>収入 | 寄附金 | その他 | 県　債 | 一　般<br>財　源 |
| 前年度 | 598,730 | 147,642 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 451,088 |
| 要求額 | 583,469 | 134,320 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 449,149 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

### ２　要求内容

#### （１）要求の趣旨（現状と課題）

警察活動の遂行上必要不可欠な警察装備品や警察車両等を計画的に整備しているが、長年の使用による老朽化に伴う更新整備や新たな装備品等の整備が必要である。

また、警察装備品や警察車両を有効に活用するためには、それらの維持管理に必要な経費の確保が必要である。

#### （２）事業内容

警察装備品及び警察車両の整備、維持管理に必要な経費

・警察装備品の整備等に必要な経費

原動機付自転車 25 台、耐刃防護衣、耐刃手袋、防弾衣（アウター型）

個人装備品(警棒、手錠、警察手帳、階級章など)

・警察車両の維持管理に必要な経費

燃料費、消耗品費、修繕料、自動車重量税、自動車保険料など

・警察車両購入費

更新車両　四輪 29 台、二輪 2 台

### （３）県負担・補助率の考え方

岐阜県警察の装備品や車両の更新整備、維持経費等の負担であり、また国庫補助金については他の国庫補助対象事業と同様の割合で充当しており、県負担は妥当である。

### （４）類似事業の有無

無し

## ３　事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|---|---|---|
| 旅費 | 545 | 業務旅費 |
| 需用費 | 356,381 | 耐刃防護衣、防弾衣、装備用消耗品、車両用消耗品、燃料・修繕料 |
| 役務費 | 31,916 | スピードメーター検査手数料、車両自賠責・任意保険の加入 |
| 委託料 | 42,930 | 車両メンテナンス業務委託 |
| その他 | 151,697 | 警察車両・原動機付自転車等の購入、自動車重量税、警察車両維持管理負担金 |
| 合計 | 583,469 | |

**決定額の考え方**

## ４　参考事項

### （１）各種計画での位置づけ

「清流の国ぎふ」創生総合戦略

Ⅱ-2-(2)-③　犯罪・交通事故防止の推進

Ⅱ-2-(2)-④　災害と危機事案に強い岐阜県づくり

# 事　業　評　価　調　書

| |
|---|
| □　新 規 要 求 事 業 |
| ■　継 続 要 求 事 業 |

## 1　事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

警察装備品や警察車両は、いずれも警察活動基盤の根底を支える重要なものであり、これらの計画的な整備を行い、警察活動の物的基盤の充実整備を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | 指標の推移 | | 現在値 | 目　標 | 達成率 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | (H　) | (H　) | (H　) | (H　) | (H　) | % |
| | (H　) | (H　) | (H　) | (H　) | (H　) | % |

○指標を設定することができない場合の理由

装備品の調達・維持管理に要する経常的なものであり、指標を設定することは困難である。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

車両等の整備状況

・車両関係

更新　捜査用等四輪車 24 台

白バイ 1 台

・装備関係

耐刃防護衣防護板 515 着、外衣 765 着、原動機付自転車 25 台の更新など

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

車両関係では、地域住民の安全･安心を支える警察活動に必要なパトカーや捜査用車等すべての警察車両を常に最良の状態で運行できるよう維持管理している。

装備品関係では、現場で活動する警察官用の個人装備品等を整備し有効活用している。

## ２　事業の評価と課題

（事業の評価）

| | |
|---|---|
| ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）<br>〇：必要性が高い　△：必要性が低い | |
| （評価）<br>〇 | 警察装備品や警察車両共に、警察活動基盤に欠かせないものであり、必要性は高い。 |
| ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）<br>〇：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている<br>△：まだ期待どおりの成果が得られていない | |
| （評価）<br>〇 | 警察装備品や警察車両の活用により、警察活動が安全かつ適正に行われている。 |
| ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）<br>〇：効率化は図られている　△：向上の余地がある | |
| （評価）<br>〇 | 警察装備品や警察車両を計画的に整備することにより、警察活動基盤を維持している。 |

（今後の課題）

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

警察装備品や警察車両を常に最適な状態で使用するために適正な維持管理に努め、維持費等の軽減を図るとともに、計画的な整備も進めていかなければならない。

（次年度の方向性）

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

警察装備品については、事件事故等発生時の警察活動の安全性確保を図るため継続整備していく。警察車両については、ニーズに沿った車種の整備や有効活用のための配置の見直しなどに努めるほか、確実な点検整備等により適正な維持管理に努める。

（他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果）

| | |
|---|---|
| 組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課 | 【　　課】 |
| 組み合わせて実施する理由や期待する効果　など | |